



横浜市歯科医師会 入会者の声

今、時代に求められているものとは ...

私は生まれも育ちも横浜ですが、大学、卒後研修、そして勤務医時代と他県で過ごしました。そのため、開業地を横浜に決めた当初から歯科医師会に所属しようと決めていました。私自身の出身地にも関わらず、地域の情報はおろか知り合いの先生すらいなかったのです。そのため、地域の歯科医師会の先生方と交流し、情報共有させて頂くことは必須でした。

しかし、現実はいかに、開業時はすでにコロナウィルス蔓延。会議はほとんど WEB 形式となり、不安だらけの私でしたが、パソコンに映る先生方はそんな私の不安な気持ちを察してくださり、とても親身に接してくださいました。また、開業から1年3ヶ月経過した頃、手元に新規指導の通知が届き、いち早く対応、指導して頂いたのも歯科医師会の先生方でした。

今時代は転換期を迎えており、従来通りのやり方では通用しないことが増えてきています。だからこそ一致団結し、地域のためと同じベクトルに向かい切磋琢磨することは、院内だけでなく様々な場所で必要不可欠であることを、歯科医師会を通して教えて頂きました。

今後はカタチに捕われずに柔軟な対応を心掛け、少しでも地域に貢献できる一医療者になりたいと強く思います。

横浜市 K 歯科医師

終始なごやかな雰囲気で行った新規指導 早めの相談で安心しておけば良かったです

私が開業するにあたって、(皆さんもそうだと思いますが) 心配事が新規指導どう乗り切ろうかな...でした。なので新規指導に強いと勧められたレセコンを導入したり、色々と診療録の書き方を見直したり自分なりに準備をしてきました。

今回、新規指導の通知が来たと同時に、歯科医師会の先生方のサポートをお願いしました。

最初の面談の時に、今までの自分の診療録が如何に不十分であるのか、カルテに即した診療録の書き方がされていないのかということに、愕然としました。

その後、先生方の手厚いサポートによって、新規指導の当日には、万全の準備が出来、何の不安もなく、指導監の先生と談笑するぐらいの余裕をもって、指導を乗り切ることができました。本当にサポートの先生方のおかげだと思っています。

私は開業の直前に入会しましたが、もっと早く入会していれば、レセコンの選定(当院のレセコンはカルテに即した診療録の運用がしづらいダメレセコンだと新規指導の前に判明)や医院のシステム、施設基準の申請の仕方、時期などが全然変わっていたなと後悔しています。

これから、開業しようと考えている先生方、なるべく早く入会し、相談に乗ってもらうことを強くお勧めします。

横浜市 H 歯科医師

保険診療への考え方が変わった横歯の指導対策 指導後にも役立つ勉強になりました

この感想文を読んでいるということは、歯科医師会への入会を迷っていたり、指導の対策についてお困りのことと思います。普段からどんなに丁寧に治療し、カルテを書いても、指導対策は必ず必要です。今回、新規指導対策をお願いする先としていくつかの選択肢がありました。歯科医師会で対策をお願いして本当に良かったと思っております。

まず、対策を取り組む前と後では、保険診療に対する考え方から大きく変えることができました。正直、青本読まなきゃな思いつつ、必要な部分だけサラッと目を通す程度のことしかしてきませんでした。しかし、本対策を通じて、何を確認すべきで、算定要件がなんなのかというのを明確に理解することができました。つまり、今後保険の改定ごとに様々なことを理解しなければならないわけですが、その道筋が開けたということでもあります。

一方で、業務をこなしつつ、青本を把握するのは厳しいです。行間を読む必要があり、非常に読みにくいのです。歯科医師会でのサポートはカルテンジャーをベースに進めることができましたので、その点でも大変有り難かったです。要件を満たしたカルテを書くことは本来当たり前ですが、なかなかできることではありません。カルテンジャーについては、一見コメント量が多いと感じますが、結果的に必要最低限でまとめることができます。むしろ早めに導入し、指導対策時にはレセコンの使用法含めしっかり理解しておくべきだったと反省しております。

また、本対策は算定漏れについても改めるきっかけになりました。萎縮診療というほどではないですが、正直、今まで算定してこなかったものはそのままにしましたが、指導対策をきっかけに変えることができました。

親身にサポートしていただき、長い時間お付き合いいただきました。面倒見て頂いた先生方、心より御礼申し上げます。

横浜市 S 歯科医師

急な相談にも親身に対応して下さった担当の先生方には 感謝してもしきれません

約5年前、十年勤め上げた仙台の職場を離れ地元である横浜に戻ってきました。父親の医院を引き継ぐことになり、2020年10月に新規指導を受けることになりました。もともと父親が歯科医師会の会員であったため、自分自身の入会は自然と引き延ばしになったまま新規指導当日を迎えました。連絡がきてからの期間は、書類の作成などに慌ただしかったものの、なんとか無事に当日を迎えることができました。

しかし指導の結果思いもよらなかった指摘を受け、早急な改善策の提出を求められる事となりました。提出までの期間も短く困り果てているところに横浜市歯科医師会の先生にお声をかけていただきました。急な入会の手続きや指摘に対する驚くほど適切な対応策等、歯科医師会の先生方も日々の診療でお忙しいところ、夜遅くまで大変親身になってアドバイスをしていただき、なんとか乗り越えることが出来ました。

勉強不足な点等、多くの自分の至らぬ部分に気付く事も出来て、反省するとともに大変貴重な経験をさせていただきましたこと、ご指導頂いた先生方には改めてこの場でお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

横浜市 M 歯科医師

指導時だけでなく、日々の診療が安全・安心なものになる カルテンジャーは開業医必携の書です

2020年9月、父の歯科診療所を継承して1年半後に新規指導を経験することとなりました。

私はカルテの記載にシェーマを活用することが多いので、もう絶対に手書き派。それなりに丁寧に記載していたつもりだったので、新規指導の通知を受け取ってもそれほど深刻には考えていなかったのです。

「ま、なんとかなるんじゃないか？」と思いつつも、小心者の私は図々しく地区の歯科医師会および横浜市歯科医師会に応援要請をしていました。すぐに横歯の指導担当の先生からご連絡があり、「カルテンジャーをインストールしておいて！」との指示をいただきました。

…が、前述のように私はカルテは手書き派。このまま手書きのカルテで勝負したい、と指導担当の先生にお伝えしましたが、きっと心の中では「マジかよ…?!」と思われていたことでしょう。

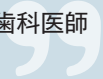
その代わりに、「保険戦隊カルテンジャー」を熟読し（中略）指導当日の1週間前には、ご自身の診療終了後でお疲れにもかかわらず、ほとんど毎日のように歯科医師会の先生が応援に来てくださり、カルテや技工指示書・患者への提供文書などの確認からカルテの編綴方法まで丁寧に指導いただきました。

「保険戦隊カルテンジャー」のすごいところは、とにかくカルテが読みやすくなること。今まで私が記載してきたカルテを、内容はそのままカルテンジャーが指示する順序、様式に少し修正して記載し直すだけで以前の治療内容やそのときの患者の状況なども把握しやすく、結果的に安全・安心な歯科医療の提供に繋がるものでした。

無事に新規指導が終了した今でも、このとき教えていただいたカルテの記載方法・カルテンジャーで推奨されている様式を遵守して診療しています。

私にとって新規指導の経験は、自分以外の誰かのために、こんなにも一生懸命になれる歯科医師会の先生方の人間力、そして同じ組織の一員として地域歯科医療に貢献できることへの感謝の気持ちをあらためて認識することができるものでした。この度は本当にありがとうございました。

横浜市 | 歯科医師



懇切丁寧な事前面談で払拭された不安 結果も「概ね妥当」に感謝

2019年12月に歯科医院を開業し、新型コロナウイルス感染症による神奈川県非常事態宣言の中2020年12月に行われる予定であった新規指導は、半年後の5月に延期されました。新規指導の通知が届いた後、私は横浜市歯科医師会の事前面談申込を行いました。すぐに横浜市歯科医師会の担当の先生から連絡があり、新規指導の1週間前に2人の先生がそれぞれ1回ずつ、前日に同じ2人の先生が同時に1回と計3回来て頂けると伝えられました。もちろん新規指導の経験は初めてでしたので、連絡を受け、不安な気持ちがスッとなくなった事を覚えています。

実際に、お二人の先生方が診療終わりに来られて、それぞれ別の視点から懇切丁寧に（中略）ご指導いただきました。先生方は診療後にもかかわらず、夜遅くまでご指導して下さいました。

新規指導の当日を迎え、前もって事前面談を行いご指導頂いていたおかげで、ほとんど指摘されることなく新規指導の時間が過ぎ終了しました。その後の届いた結果は「概ね妥当」でした。この結果を頂いたのも歯科医師会の制度、事前面談に来て頂いた先生方のご尽力の賜物だと思っています。この場をかりてお礼申し上げます。

横浜市 W 歯科医師

新規指導を受けるも再指導になり、 個別指導にこの度横歯のご支援を受け臨みました

新規指導時は知り合いの先生に見ていただいたのですが（横歯と関係がなかったのを後で知る）ずいぶんと楽なんだなあと、今思えば恐ろしいことですが、書類の書き方ひとつ、必須要件もまったく満たされていない状態で再指導となり、人間不信・孤独で暗い1年の始まりでした。

そして個別指導通知、より厳しい個別指導にまた落ちると落胆し、歯科医師をしていく意味すら疑問に感じてもう終わりかと思っていました。そんな時、1本の歯科医師会の先生からの電話が・・・半ばパニックで面談を申込み、人間不信の私は恐る恐るそのハウツーを教えて頂き初めてそのシステムを知りました。

そんな私に転機が訪れたのは、カルテンジャー導入！！途端に、わかる！みえる！まさに目から鱗状態。何だったんだ今までは。指導1週間前、いよいよ通知これからが本番となり、多くの横歯の先生方が、直前までご自身の眠る時間を割いてまで深夜に至ってのお付き合い下さり、本気で臨んでいただける先生方に引っ張っていただき、結果おおむね妥当を頂戴しました。

決して一人ではない、こんな末端の歯科医を支えてくださり言葉もありません。一体験で恐縮ですが、この指導前後で生きる自信を取り戻せました。本当に、有難うございました。

横浜市 G 歯科医師

新規指導にあたり、大変お世話になりました。当初は新規指導がどういったものか想像もつかず、「親から継いだ医院だし、大体資料も揃っているから大丈夫だろう」と漠然と構えていました。しかし、新規指導前にいざ書類を整備してみると、想像以上に時間がかかり、「揃っていそうな資料やカルテ」にも足りない部分やツッコミ所が多々ある事が判明し、さあ大変だ!!! となってしまいました。自分自身、カルテの記載要項をはじめ、用意すべき書類や記載事項等が、厳密にはまるで分かっていなかったのです。(実はほとんどの人が、ちゃんとした1号様式の書き方を始め、カルテ記載や必要な書類などについて分かってないのが実態だと思います。)

不安ややるべき事は募るばかりでしたが、そんな中、歯科医師会の先生方が診療後の貴重な時間を費やし駆けつけてくれ、カルテンジャーについて教えてくれ、算定要件を満たすカルテの書き方を教えてくださいました。

カルテンジャー自体は知っていたものの、今回改めて読んでみると内容のわかりやすさ、フォーマットの汎用性の高さ、算定要件を満たす為のコメントの的確さが素晴らしくよく出来ており、これにより非常に効率的にカルテを書くことが出来ました。本当に、ここまで指導に対し研究し尽くした本を作ってくくださった人々に頭が下がります。まずこれが無ければ、満足なカルテを書くことすらできなかったと思います。

そしてどうにかカルテが形になって来ましたが、それでもまだある不備不足。何しろ用意すべき書類やチェック項目が膨大なのです。しかし、歯科医師会の先生方が連日遅くまで何度も足を運んでくれ、直前になってもなお準備不足な私の資料に対し、「どこに不備があり、何が足りないか」をたちどころに見抜き、神業ともいえる速さで(中略)準備を進めて下さいました。複雑怪奇ともいえる厚生局の求める算定要件に対し、一瞬でどこが重要かを見抜き、資料を整備させていく様はとて自分のできるものではありませんでした。

また当日想定される質問についても、非常に具体的なアドバイスをしていただき、どのように答えたらよいか対策することができました。こちらの不備や手際の悪さもあり、大変遅くまで手を煩わせてしまいました。歯科医師会の先生には本当に献身的にサポートをしていただき、お陰様で何とか体裁の整った資料を整備して、指導を受けるに至りました。

そして当日、あろうことか私は会場を間違え遅刻してしまう失態まで犯してしまいましたが、現場にいた歯科医師会の先生方の力添えで無事指導を受けさせて頂き、準備した資料のおかげで指導そのものは順調に進み、少し難しい質問が来た時も、即座に歯科医師会の先生方がフォローに回っていただき、大変助けられました。そしてようやく「概ね妥当」と評価して頂き、指導を終えることができました。このときの感謝や達成感の気持ちというのは、中々表現できるものではありません。また、あのまま対策せずに指導を受けていたらと思うと本当に恐ろしいです。

新規指導は単なる通過儀礼だけでなく、「責任ある開業医として何が求められるか」を確認するところでもあります。厚生労働省の定める「在るべきカルテや指示書の書き方」や、「在るべき診療のあり方」は、実際にはとても細かく複雑で、普段診療しながら細部まで把握することは難しいと思われます。しかしそこを歯科医師会の先生方が分かりやすく教えてくださいました。事前に対策が取れ、当日の指導を無事に乗り切ることができました。適切な資料を用意していれば、新規指導の場は決して威圧的なものではなく、これまでのカルテや資料を参考に、今後気をつけていくべき事を丁寧に教えていただける場でもあります。

当日指導して下さった先生やスタッフの方々に深く感謝しております。そして何より、このように不備や至らぬ点多かった状態から、順調に指導を受けられるよう全力でサポートをして下さったO先生、S先生、歯科医師会の先生方に本当に深く感謝しております。これを期に普段の診療を見直し、より適切な診療や書類作りをしていきたいと思っております。本当に、有難うございました。今後とも何卒宜しくお願い致します。

“ 今回新規指導を終えてわかった事があります。それは、歯科医師会の先生方の手厚いサポートがあったからこそ新規指導を乗り切れたということ、カルテンジャーが素晴らしいということ、歯科医師会は早めに入会すべきだということです。

入会申込書を提出すればすぐ入会できると思っていましたが、入会審査が月に1回という会もあり、土壇場で慌てる事になってしまいました。開業してすぐ入会していれば、保険の講習会も受講でき、新規指導に役立つとも聞きました。

もう1つは、カルテンジャーをインストールし使わせていただいたことにより、診療録の記録の効率が上がり、より内容の濃い診療録が出来上がります。ソフトが素晴らしいのは勿論、付属の冊子にも今まで疑問に思っていた事がわかりやすく載っており、未だに日頃の診療には欠かせません。最終的には、歯科医師会の先生のご指導やサポートがあり、安心して臨むことができました。

先生方が、ご自身の医院の診療後やレセプトの合間に貴重なお時間を作ってくださり、とても親身になってご指導いただきました。本当に感動致しました。

開業して1人で医院を運営していく事は、不安しかありませんでしたが、歯科医師会に入会しとても安心できました。まだ入会なさっていない先生方には、是非入会をお勧め致します。

横浜市 E 歯科医師

“ 2020年1月30日に新規指導を受けました。

開業と同時に歯科医師会に入会はしていましたが、新規指導があることが分かっていたのですが、対策は行っておりませんでした。2019年12月18日、新規指導の1か月前の通知が届きました。歯科医師会がサポートをしてくれるらしいとの噂は聞いていましたが、どのようにお願いすれば良いかと逡巡していたところ、横浜市歯科医師会の生涯研修委員会の先生から電話をいただきました。『新規指導のサポートは必要ですか?』二つ返事でお願いました。

その後、カルテンジャーという最強の武器の存在を知りました。年内にどうしても手に入れたかった私の無理を聞き入れ、生涯研修委員会の先生は12月30日であるというのに対応していただき、カルテンジャーを手に入れることが出来ました。

2020年、年明けからは、委員の先生の明確で分かりやすい指導のもと、無駄なく1つ1つ準備を行うことが出来ました。そのアドバイスは的確で、想像を遥かに超えていました。絶大な安心感がありました。

新規指導日1週間前通知が届いてからは、ほぼ毎日深夜まで、診療後に医院に面接に来ていただきました。対応策や知識はもちろん、本気で助けてくれようとしてくれる姿勢から多くのことを学びました。

新規指導から1ヶ月が経った3月11日、手元には『概ね妥当』と書かれた結果通知書があります。カルテンジャーという最強の武器。焦ることなく準備が行なえ絶対に大丈夫だなと確信を持って指導当日を迎えられる安心感。本気で人から助けてもらう経験。本当に委員の先生には感謝しています。ありがとうございました。

横浜市 K 歯科医師

“ 2019年10月に新規指導を受けました。

開業と同時に歯科医師会に入会したのですが、正直メリットはわからないまま入会したので、積極的な活動はしていませんでした。

その後、新規指導の時期となり1か月前通知が届きました。分かってはいた事ですが何も対策はしていなかったため、大変焦り途方に暮れた状態でしたが、知人より横浜市歯科医師会がサポートしてくださるとの情報を聞き、すぐる思い出問い合わせ、対策の依頼をしました。

連絡後は生涯研修委員会の先生が迅速に対応してくださり、わざわざ当院まで足を運んでくださり、当日までのやるべきこと、流れ、心構え、対策などを面接してくださいました。おかげでどのように準備すべきかのイメージができ、目標が見えたことで不安が和らぎました。

新規指導日1週間前通知が届いてからは、医院の先生方がほぼ毎日診療後に4回も面接に来てくださり対応策、アドバイスをしてくださいました。カルテテンジャー、青本を通して自分の知識のなさを痛感し、またたくさんの方のことを学びながら準備を終えることができました。

指導当日は生涯研修委員の先生が立ち会って下さいました。極度の緊張下での面談だったので言葉に詰まることがあったのですが、助け舟を出していただき精神的にもサポートしてくださり、滞りなく終えることが出来ました。

新規指導も問題なく終わることができ、委員の先生方には感謝してもしきれません。歯科医師会に対してマイナスのイメージしかなかったのですが、今回の件を通して入会して良かったと改めて感じました。今後ともよろしく願います。

横浜市 W 歯科医師

“ 私は神奈川県横浜市に開業して四年目になる歯科医師です。私は開業して一年後の新規指導でカルテ記載の不備により翌年も再指導という結果になりました。翌年も指導を受けましたが、改善は見られたものの再度、再指導という結果になりました。結局3回の再指導を指導課から受けました。3回目の再指導では、多少の算定要件の不備はありましたが、指導も和やかに進み今回は今回こそは経過観察か概ね妥当の結果になるかと思われました。

しかし指導の後半で、技工物の納品書が不足している部分が見つかりました。「義歯の仮床」と「再製したCAD/CAM冠」の納品書がないとのことでした。あとから技工所に確認しましたが、やはり技工所が技工物は作製していたのに納品書を発行していないということでした。しかし厚生省の事務の方は私の不正を疑い、指導中止を求めているようです。

別室で待機させられ審議を待っているとき、心身とも疲弊していた私は正直、診療所の閉院まで考えていました。そんな中、会場にいた歯科医師会の先生に声をかけていただきました。「俺は先生のことを信じているから…」と、その後その先生から「歯科医師会に入会していた方が、こういうときに先生の力になれますよ」と助言をいただきました。

開業当初、経費の面で歯科医師会に入会していませんでした。今回、この先生や横浜市歯科医師会の〇〇先生の助言を受け、早急に歯科医師会入会の手続きをしました。

その後も冒頭の神奈川県歯科医師会の先生や横浜市歯科医師会の先生から「これから何かあったらなんでも相談して。仲間なのだから！」とお言葉を頂きました。歯科医師会は頼りになる先生方がたくさんいらっしゃいます。これから開業する先生方には入会を強くお勧めします。

横浜市 N 歯科医師

開業して一年半という期間、自分では保険診療に対して邁進しているつもりで、その実しっかりと学ぶことなく過ごしてきました。

今回、新規個別指導を受けるに際して事前面談を申し込ませていただきましたが、自分がどれだけ保険診療の要件というものを分かっているかを思い知らされました。診療録とは、それを見ただけで治療の流れ、その流れの方向の理由、理由の根拠であるデータ、データに対する考察、向かっている目標まで、確実に読み取れるものでなければならないし、そうあるべきだと。ということは自分には全く分かっていませんでした。

事前面談でご指導くださった先生方からは、その知識からこちらが必要と思われることをわかりやすく教えていただけるし、どんなに難しい状況でも絶対に見放すことなく、完全に進む方向を見失った自分にしっかりと目的地を指し示してくれる、そんな安心感を与えてもらいました。先生方からの優しく厳しい教を頂きながら、短気に凝縮してこれだけ多くの知識を得られた今回のような体験は、この事前面談でした出来ない貴重な経験だと思います。今後の診療に対する姿勢、診療録の意義など、この先も医療という仕事から切り離すことのできない大切なことまでご指導いただけたのだと思います。

このたびご指導いただいた先生方には、最後まで色々ご面倒をお掛けして、申し訳ありませんでした。本当に感謝してもしきれません。ありがとうございました。

横浜市 E 歯科医師

開業した歯科医師が必ず通る関門、新規指導。誠実に正直に診療していればなんとかなるだろうという淡い期待もカルテンジャーというテキストを見た瞬間に打ち砕かれました。もっと早くこれを手にしていれば…

修羅場とかした当院に指導に来てくださった先生はあまりの出来の悪さに見捨てたりせず、最後まで根気よく面倒をみていただきました。半泣きで臨んだ新規指導の結果は、「今まで見た中で最高の内容です」と太鼓判を押されるほどの出来。素のままだったらどうなっていたか…。知識と経験に基づく指導に勝るものはないと痛感しました。隅から隅まで目を通して教えてくださった歯科医師会の皆様、指導してくださった先生、感謝です！

横浜市 A 歯科医師

2018年10月14日、無事に新規指導を終えることができました。約1か月前に通知が届き「いよいよか」と思いながら、何から始めていいのか分からず、ただ書類作りを進めていました。

その後、横浜市歯科医師会の先生から（中略）あらゆる事をご指導いただきました。

今回カルテンジャーの使いやすさに感銘を受け、日々のカルテ作りにも引き続き使用しています。

新規指導は無知であった私の意識を変える良いキッカケでした。そして横浜市歯科医師会の先生のご指導がなければ、再指導になっていたでしょう。

この場を借りて、横浜市歯科医師会の先生方、スタッフに感謝申し上げます。

横浜市 B 歯科医師

“

新規指導を受けるにあたって、開業から新規指導のことはずっと気がかりで不安でした。1年ほど経ってから、実際に新規指導の日程が決まり、さらに不安は倍増し、どのように準備するのが良いのかもわからず何も手が付けられない状態でした。

困り果て、歯科医師会の先生に相談したところ、横浜市歯科医師会の新規指導の対策委員会の先生をご紹介いただきました。先生からはすぐにご連絡をいただき、まずはじめに言われた言葉は、「私たちが徹底的にフォローするから大丈夫ですよ。先生、何にも心配いらないよ」と声をかけていただきました。その言葉で、僕自身がどれだけ救われたわかりません。実際にご連絡をいただいてから、すぐ当院に駆けつけて来てくださいました。

さらに他の先生も方も診療後にお疲れのところおいでくださり、本当に日付が変わるまで準備をし対策をしてくださいました。

当日は、とても不安で緊張していましたが、先生方のフォローのおかげで特に問題なく、無事に終えることができました。あの時、先生方に助けていただいてなかったらと考えるとぞっとします。

先生方には、なんとお礼を申し上げてよいやら感謝の言葉もありません。

本当にありがとうございました。

横浜市 C 歯科医師

”

“

開業前からの心配事に新規指導がありました。しかし開業すると日課に追われる毎日で、その不安も薄れていきました。いざ新規指導の日程が決まると何から手をつけていいのか一人で暗中模索する日々。そんな時に横歯の先生から事前面談を受けてみませんかとの連絡がありました。正に渡りに船でした。

とても迅速に対応していただき、指導に精通した先生方のアドバイスを頂け、準備の道筋がとてもクリアに見えて来ました。

“診療録記載とはどうあるべきか”を一から丁寧に教えていただいたことは、今後の診療においてもプラスになることでした。今後も指導対象となることがあれば、まずは事前面談でアドバイスをいただきたいと思います。

この度、ご指導頂きました先生方にはこの場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

横浜市 D 歯科医師

”